

2026年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	〔数学〕【数学B】	3年	3単位	教科書	最新数学B	副教材等		履修対象・ 使用教室 等	3年3組選択 HR教室		
教科・ 科目 の 目標	(1) 数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 (3) 数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。										
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。			数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い，【A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況】とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて，学習全体の総合的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。										
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	単元テスト		節ごとに実施し，定着度をはかります。			50		50			
	確認テスト・レポート課題		適宜実施をし，その都度，理解度をはかります。			50		50			
	授業への取り組み姿勢・自主課題の提出		問題演習やレポート課題などの取り組み状況，自主的な課題提出							100	
〔観点別配分％〕		〔3 観点の比重を％で示しています〕									
月進行 【計画】	【単元名】 学習項目名		配当 時間 【計画】		学習内容・目標（到達点） など		主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕 知・技 思・判・表 態度		
4 5	【数列】数列とその和		22		簡単な数列とその和について理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。		単元テスト 確認テスト・レポート課題 授業への取り組み姿勢・自主課題の提出		○ ○ ○ ○ ○		
6 7	【数列】漸化式と数学的帰納法		25		漸化式と数学的帰納法について理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。		単元テスト 確認テスト・レポート課題 授業への取り組み姿勢・自主課題の提出		○ ○ ○ ○ ○		
8 9	【数学と社会生活】		18		社会生活などにおける問題を，数学を活用して解決する意義について理解するとともに，日常の事象や社会の事象などを数学化し，数理的に問題を解決する方法を知る。		単元テスト 確認テスト・レポート課題 授業への取り組み姿勢・自主課題の提出		○ ○ ○ ○ ○		
10 11	【数学と社会生活】 【統計的な推測】確率分布		25		社会生活などにおける問題を，数学を活用して解決する意義について理解するとともに，日常の事象や社会の事象などを数学化し，数理的に問題を解決する方法を知る。 確率変数とその分布について理解し，それらを不確定な事象の考察に活用できるようにする。		単元テスト 確認テスト・レポート課題 授業への取り組み姿勢・自主課題の提出		○ ○ ○ ○ ○		
12 1	【統計的な推測】確率分布 【統計的な推測】統計的な推測		15		確率変数とその分布について理解し，それらを不確定な事象の考察に活用できるようにする。 統計的な推測について理解し，それを不確定な事象の考察に活用できるようにする。		単元テスト 確認テスト・レポート課題 授業への取り組み姿勢・自主課題の提出		○ ○ ○		
学習の アドバイス	・数学Bの基礎基本の定着を徹底します。 ⇒基礎基本の定着（知識・技能）なくしては，応用問題や入試問題（思考力・判断力・表現力）に対応できない。ゆえに，教科書レベルの内容の定着に特化します。 ・数学は積み重ねの教科です。 <u>家庭学習の習慣が必須となります</u> 。授業では「理解」、家庭学習にて「定着」を心がけてください。										